

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp

<https://jhu-wing.main.jp/>

関東キャラバン報告：その3

キャラバン4日目

6月1日 栃木



朝8時の宣伝から暑い
1日でした。
たくさんの熱いご支援に
パワーをいただきました!

8時	宇都宮駅前宣伝
10時	栃木労働局要請
11時	栃木県労政課要請
11時半	県庁記者会見
12時	県庁前宣伝
15時	栃木市イオン前宣伝
16時	JR 佐野駅前

宇都宮駅前

女子高生から「解雇って何ですか？」と聞かれました。宇宙飛行士になるのが夢だそうです。若者がのびのびと学び、憧れの職業に就ける世の中に！不当解雇のない社会にするために頑張ります。



栃木労働局 要請

地元支援者と山口委員長の外、組合員5名の総勢7名で、栃木労働局を訪れ、雇用環境・均等室の渡辺室長補佐に要請書を提出しました。「長引く争議はJALの安全にも影響、行政の力をぜひ頂きたい」と要請。「局長に報告させていただきます」との事です。



栃木県庁産業労働観光部 労働政策課 要請

栃木県産業労働観光部労働政策課には、地元支援者と山口委員長の外、7名の組合員で要請。山口課長が対応。「JAL 争議の早期解決にお力添えを！」と要請しました。



栃木県庁での記者会見

2022年6月2日 下野新聞

栃木県庁で記者会見。
 女性記者から「組合員は何人ですか？」
 「なぜ、今キャラバンなのですか？」
 「栃木県労働局要請は何度目ですか？」
 などの質問が続きました。
 尚、この事は6月2日付下野新聞社会面に掲載されました。

日航争議解決へ 県などに要望書
 被解雇者労組
 会社更生手続き中だった日本航空（JAL）が2010年末にパイロットと客室乗務員計165人を整理解雇した問題の早期解決を求め、JAL被解雇者労働組合（JHU）などは1日、栃木労働局と県労働政策課に要望書を提出した。
 JHUは21年4月に元機長ら23人で結成。労働局長らへの要請は現在、関東地方で行っている集中的な活動の一環となる。要望書では同社が経営再建以降、乗務員らを新規採用している点を「被解雇者の優先的再雇用を求める国際労働機関（ILO）の勧告に反する」となどと指摘し、労働局と県に尽力を求めた。
 提出後に県庁で記者会見した元機長でJHUの山口記者会見するJHUの山口執行委員長（右から2人目）ら11日午前、県庁記者クラブ

栃木県庁前



大きな交差点の4つの角で、横断幕を掲げてアピール。夏のお昼時に訴えが響きわたりました。「毎日Twitterを見てますよ」と参加者の方から。



栃木市箱森町交差点



3年前のキャラバンも、この場所で宣伝実施。その時一緒だった細井さんは、昨年12月に亡くなりました。赤坂社長！あなたは、いったいつまで解決を引き延ばすつもりなのですか？

佐野市役所前



栃木キャラバンの最終地は、佐野市役所前。国民救援会ははじめ地元の皆さまが駆けつけてくださいました。私たち165名の仕事を奪い、家族の人生まで狂わしたJALの不当解雇。JALは一日も早い解決を！